



# 吟じて演じきる。まさに迫力はオペラ。 いつか武道館のステージで!!



(東三河支部)  
三州建設株式会社  
本社 営業企画室 室長  
青木 琴美 さん

豊橋から飯田線に乗り換え、のどかな単線電車で約1時間。「大海(おおみ)」の駅は、新緑の山を背景に小高い丘の上にあります。今回は、この駅から歩いてすぐの三州建設株式会社(新城市大海字中海津16番地の6)本社営業企画室室長の青木琴美さんにお話を伺いました。

## 吟じます

いつもは、趣味をあらかじめ伺ってからお邪魔するのですが、今日はお聞きしていません。まず趣味は何ですか？

青木 詩吟です。

詩吟というと、今バラエティーでも話題ですね。

青木 そうですね(笑)。

詩吟との出会いはどんなきっかけだ

ったんですか？ もう長く続けていらっしゃるんですか？

青木 今、キャリアとしては8年目です。最初は高校時代のカラオケ仲間に誘われて教室に行ったのがきっかけです。詩吟の世界は平均年齢が60代くらいで、私が始めた頃、若い詩吟人口は圧倒的に少なく、年齢で分類されるコンクールなどでは1年目から入賞していましたので、軽い気持ちで続けていました。

それが8年も続いたのは？

青木 最初の頃は詩の内容も余りわからないまま吟じていました。どちらかと言うと付き合いで続けていた感じで、いつやめようかと考えていました。しかし、日本武道館で「合吟」という55人で吟じる機会があり、他チームを見た時にすごい「やる気

を感じ、気持ちが変わりました。

55人で吟じる？かなり迫力がありそうですね。

青木 それはすごい迫力です。55人のチームが50組程度、全国から集結して競い合います。

詩吟というと1人でやるものだと思っていましたが、いろいろあるんですね。

青木 合吟のほかにも、吟剣詩舞という、詩吟に合わせて剣や扇を持って舞うものもあります。

お話を伺っていると詩吟は私たちの知らない事が多いようですね。魅力は何ですか？

青木 詩吟というのは、ただ単に詩をリズムに乗せて吟じるだけではありません。1回に吟じるのは2分ですが、その2分の中に起承転結があるんです。ですから、例えば親を思う吟は幼少で、白髪などの言葉が出てくる吟は歳を重ねてから吟じることが好ましいです。そうしたことを知ってくると、自分が吟じる詩について、背景や歴史をどんどん知りたくなりました。学生時代それほど好





きではなかった歴史や国語を勉強し  
たくなります。

詩の背景を知るわけですか？

青木 そうです。詩の背景を知ること  
で、作者の気持ちを理解し、自分  
の気持ちを重ねて吟じます。そして  
その気持ちを聞いている方々に届け  
られたらと思います。

奥が深いですね。元々日本文化など  
に興味があったんですか？

青木 そうですね、小さい頃は日舞  
を習っていましたし、中学では弓道  
をやっていました。

日本文化に触れることで女性として  
の魅力もどんどん深まりそうです  
ね。

青木 今は生活の中心が詩吟です。



詩吟のコンクールなどで着物を着る  
機会がありますが、月に1、2回のそ  
の機会のために髪も黒のまま伸ばし  
ています。

## 夢は少壮吟士

日頃のファッションも詩吟中心で考  
えるほど魅力があるんですね。では、  
これからの目標は？

青木 詩吟にはいくつもの流派があ  
ります。私の所属する流派は不朽流  
といいますが、その宗家が女性で  
(大伊達不朽)、それまで世襲だった  
ものをご自分の力で宗家になった方  
です。その方をととも尊敬していて、  
少しでも近づきたいと思っています。

詩吟の世界のプロということでは  
か？

青木 宗家は少壮吟士といって、非  
常に厳しい試験をクリアして財団法人  
日本吟剣詩舞振興会が選ぶ吟士  
です。是非皆さんにも聞いていただ  
きたいのですが、声が違います。声  
から詩の世界を伝える力、とにかく  
感動します。詩吟をあまり知らない  
方にも聞いていただきたいと心から  
思います。そして、私も少しずつ力  
をつけていきたいと思っています。

具体的には教室を開くとか？

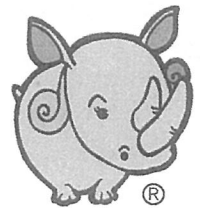
青木 いつかは自分で教室を持ちた  
いと思っています。その教室では、  
詩吟を教えるのはもちろんですが、  
その詩の歴史や背景についても教え  
られるような教室にしたいと思っ

ています。私が友人に誘われ、何と  
なく始めた詩吟は、今では一生もの  
出会いをさせてくれた友人に感謝し  
ています。ですから、この詩吟の楽  
しさを他の子どもや若者にも感じて  
欲しいと思っています。多くの人々  
と出会い、詩吟を通じてエネルギー  
を感じられるような機会が増えたら  
と願っています。

エネルギーに趣味を楽しんでい  
る青木さんですが、お仕事でもい  
ろいろなことに挑戦なさっているん  
ですよ。

青木 営業企画室というところは、  
現場に出向いて見積もりを作った  
り、現場監督もやります。先日を見  
積もりに行った現場で蚤まみれにな  
ってきました(笑)。その他にも会  
社の看板などのデザインもします  
よ。

さきほどいた  
いた名刺に、印  
象的な「サイ」  
のイラストが入  
っていました



が、それも青木さんのデザインとか。

青木 はい。コピーの「解体工事と  
りサイくるん」に合わせて「サイ」  
のイラストをデザインしました。

青木さんの優しさが伝わってくるよ  
うなかわいらしいサイですよ。

仕事も趣味も力いっぱい取り組んで  
いるという印象の青木さんですが、  
どうぞこれからも会社で、また詩吟  
の世界でのご活躍をお祈りしてい  
ます。